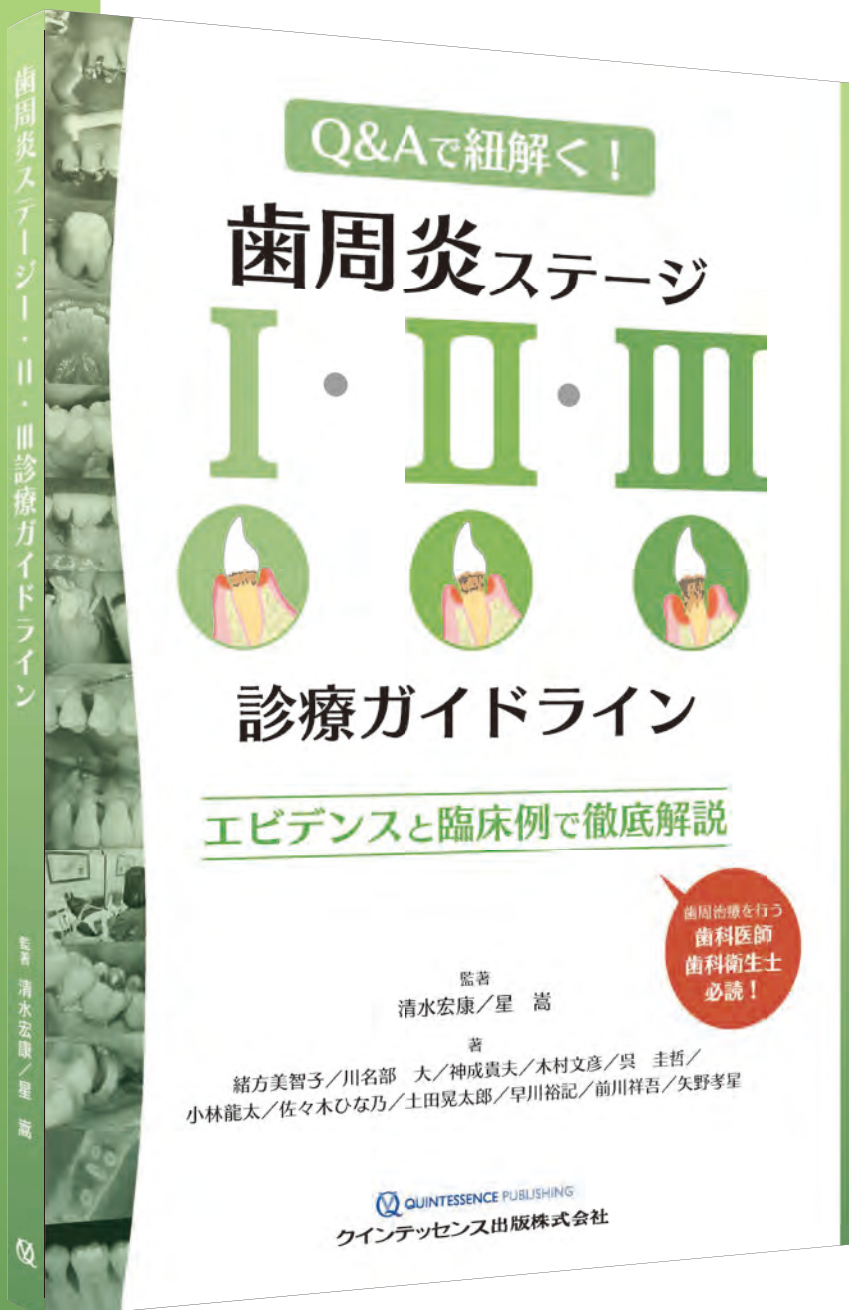


歯周炎ステージⅠ・Ⅱ・Ⅲへの対応をエビデンスと臨床例で徹底解説！



監著 清水宏康 星 嵩
著 緒方美智子 川名部 大 神成貴夫 木村文彦 呉 圭哲 小林龍太 佐々木ひな乃 土田晃太郎 早川裕記 前川祥吾 矢野孝星

昨今、EBMの重要性が広く浸透し、一般臨床家の他愛のない会話のなかにも「それってエビデンスあるの？」といった言葉を聞くようになった。そんななか、EFPは“歯周炎ステージⅠ・Ⅱ・Ⅲの診療ガイドライン”を策定した。

本ガイドラインは、エビデンスに加え、エキスパートの経験もふまえており、より実臨床に近い内容となっている。本書はそれを単に紹介するだけでなく、日本の臨床現場に活用するための解説や臨床例も多く提示され、歯周炎へのアプローチ方法の選択を助ける一冊となった。

本書の特長

● EFP(ヨーロッパ歯周病連盟)の歯周炎ステージⅠ・Ⅱ・Ⅲ診療ガイドラインで掲載されているクリニカルクエスチョン(62個)が一覧で掲載されており、そのなかからとくに重要なものを30個ピックアップして解説！

● EFPガイドラインで示される治療において、日本の臨床現場と一部異なるところもある。その点については、著者らが日本での実臨床で活用できるように解説を加え、かつ42にもおよぶCaseを提示している。多くのCaseのなかから自身がまさにいま困っている類似症例が見つかるかも！？

● 本書の最後には、EFPガイドラインの内容をわかりやすくまとめたビジュアルガイドも掲載！アイコンと簡潔な文章で頭の整理に役立つ内容となっている。また、コラムやテクニックセンシティブな歯周組織再生療法の勘所も掲載しているため、明日からの臨床に役立つこと間違いなし！



